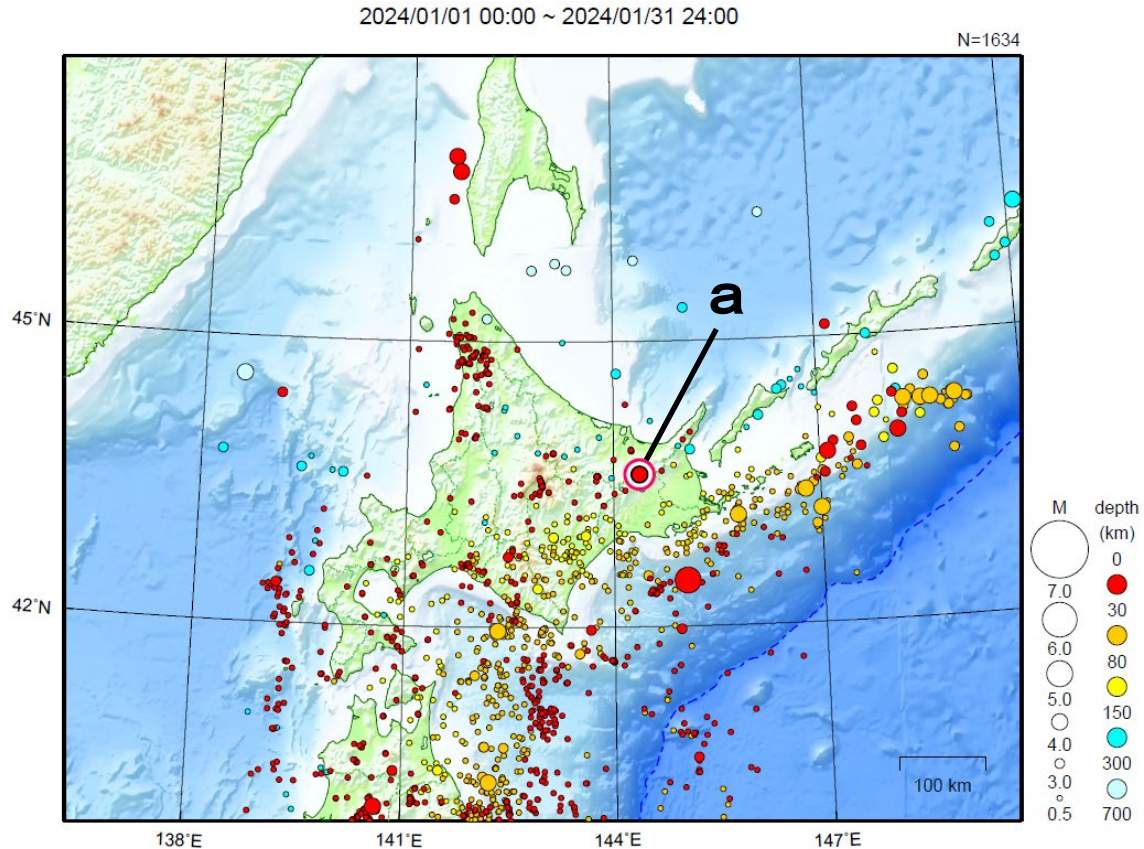


○北海道地方の地震活動



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使

〔概況〕

1月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は19回（2023年12月は15回）であった。

1月中の主な活動（他地方で発生し、この地方で津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

- a 13日15時55分に釧路地方北部のごく浅い場所でM4.0の地震が発生し、北海道弟子屈町で震度4を観測したほか、網走地方及び釧路地方で震度2～1を観測した（p.12、14 参照）。 日本海沿岸、北海道太平洋沿岸西部及びオホーツク海沿岸で津波を観測した。

※巨大津波計による観測である。（観測単位は0.1m）

（図の範囲外）

1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmでM7.6の地震が発生し、石川県輪島市及び志賀町で震度7を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測した。また、この地震により、石川県能登で長周期地震動階級4を観測したほか、北陸地方を中心に東北地方から中国・四国地方にかけて長周期地震動階級3～1を観測した。この地震により、石川県の金沢（港湾局）で80cm、山形県の酒田*で0.8mの津波を観測するなど、北海道から九州地方にかけて、日本海沿岸を中心に広い範囲で津波を観測した（p.6～11、17、55～114 参照）。

北海道においても、檜山地方瀬棚港（港湾局）で54cm、奥尻島奥尻港（港湾局）で54cm、後志地方岩内港（港湾局）で49cmなど、北海道